

One Book One OSAKA 実行委員会第2回議事録

1. 日時 : 平成25年7月25日(木) 午前10時~11時30分
2. 場所 : 大阪市立中央図書館 5階 中会議室
3. 会議内容



- ・ 実行委員メンバー確認
- ・ 配布資料確認

レジュメ、実行委員名簿、投票用紙、当館HPのOne Book ページ、
府立中央図書館HPのOne Book ページ

(1) これまでの経過報告

- ・ 協賛金等
大阪商工信用金庫 150,000 円
セレッソ大阪 30,000 円
株式会社サクラクレパス ポスター2000 枚
- ・ 投票用紙配布
カラー : 各図書館、各区子ども・子育てプラザ、市立小学校
大阪商工信用金庫
白黒 : 市立幼稚園
市立保育所・私立保育所・私立幼稚園・
子育て支援施設(配本施設のみ)
協賛金で印刷できたカラー投票用紙の枚数に限りがあるため、カラー投票用紙を配布できない施設が発生した。
他にも、投票用紙を置いていただける場所を探っていく。
- ・ 投票
7月1日(月)より投票開始。
市立中央図書館ではエントランスホールに投票場所設置。
12月27日(金)までを予定。

(2) 投票について

- ・ 投票用紙(配布資料参照)
- ・ 投票状況
中央図書館投票箱 122 件 郵送 10 通 11 件 (7月24日現在)
投票箱の予算がなく投票箱を学校に送っていないためか、郵送での投票があった。
- ・ 大阪市立図書館HPにOne Book ページ
これまでの運営委員会・実行委員会の記録も見るができる。
- ・ ネット投票
大阪府の投票の仕組みを使用しているため、大阪市立図書館のページから府立図書館のページを経由して府の投票のページに誘導している。
スマートフォンからも投票できる。

府のメールマガジンでも紹介している。
現在 12 件投票あり。これから増えるだろう。
システム上、メールアドレスのみ記入要だが、それ以外の名前その他の個人情報は一切記入を求めない。
集計はエクセル表で出てくるためまとめやすい。

・開票作業の進めかたについて

各区で集計（集計記録のフォームは事務局が準備）。

2～30 番の番号ごとにカウント。

番号とタイトルが違う場合はタイトル優先。

1 番の自由に選ぶ絵本はタイトルごとに数えるが、もし 1 番に 2～30 番のシリーズが入っていたらシリーズの方に含める。

投票用紙は各区で管理するが、HP 等でぜひ紹介してほしいものは事務局に送付。

力作投票用紙の HP 公開を行いたい。

学校等での展示も可。

投票数の中間発表なども行うか。

投票用紙は各区ごとに展示等してもよい。締切前であっても展示等してよい。

開票作業の具体的な日程や内容は、ボランティア・各区の図書館と打ち合わせのうえ決める。

【意見】

- ・シリーズものでも絵本によって出来映えはかなり違ってくる。1冊ずつ集計する方がいい。
- ・シリーズはまとめてやっていると開票作業が非常に厳しい。
- ・今までの運営委員会・子ども運営委員会や実行委員会でいろんな意見が出た中で、今回こういう投票用紙でシリーズはまとめてやっという事になったはず。今回、この形で投票・集計を実施して、今回の反省を入れて次回はよりいいものにしていきましょう。
- ・ひとつひとつの作品への思いは大事だが、シリーズものの票がばらついてしまうものどうか。
- ・1 番の自由に選ぶ絵本についてはシリーズとは関係なく個別に集計するしかないが、よほどシリーズがたくさん入れればまとめるかどうか考える。

(3) 今年度の事業について(投票促進も含めて)

・24 年度の実践例

東淀川区

商業施設「かみしんプラザ」のイベントで図書館に紙芝居の実演などをしてほしいとの依頼があり、「東淀川絵本読み聞かせ事務局」（東淀川区役所でおこなっている、絵本読み聞かせボランティアを育成する事業の事務局）に依頼し 2 日間読み聞かせをおこなった際、毎回投票を呼びかけた。

かみしんプラザ内の書店も One Book 候補本を揃えて販売。

図書館から投票用の色鉛筆などを提供した。

終了後も引き続き投票箱と投票用紙を設置。

西区

昨年度 12 月・1 月・2 月に 1 回ずつ、西区老人福祉センターに九条幼稚園の園児が訪問し、そこで読み聞かせ・童謡・ミニ工作などの世代間交流事業をおこなった。今年度、謝金の予算はないが、実施したいとの声があり同様に実施する予定。

・絵本展について

中央図書館では、例年図書館フェスティバルのころに大会議室で開催していた。
今年度は事業予算がなく、11月25日以降は中央図書館の大会議室が使用できない。
すでに図書館フェスティバル行事で土日の大会議室が埋まっている状態で、例年のような絵本展の開催は困難な状況。
中会議室やホワイエの使用は可能。
各区で絵本展の計画あり。
絵本展セットもあり。

・各区での今年度の予定

西淀川区

11月に絵本展を企画。
毎年途中で集計して西淀川区の1冊を決め、区長に読み聞かせしていただいている。

浪速区

3月にいつも絵本展をしている。
親子フェスタが8月末にある。カステラドームを使った催しを計画中。

東淀川区

8月に区で食育イベントがあるので、ミニ絵本展をおこない投票を呼びかける予定。
他の読み聞かせでもOne Book候補本を入れて、投票の呼びかけをおこなう。

中央区

絵本展を予定しているが具体的には未定。

【意見】

- ・「おはなしたのしいでえ」でできるだけOne Book候補本からプログラムを組むことにしてはどうか。ホワイエにOne Book候補本を展示することもできる。
- ・29冊はあくまで目安であり、一番大切なのは、1番の自由に選ぶ絵本。選ぶ過程で色んな絵本と出会うのが大事。前面に29冊を出してしまうと投票を誘導してしまうのでは。
- ・これまででも、ボランティアが読んだ本に投票する傾向がどうしてもあったが、それがいけないというのではない。これを入口にさせていただいたらいいのでは。おはなし会ではOne Book候補本以外の本もたくさん読む。自由に選ぶ絵本が大切というのはみな同じ思い。
- ・リストを見て、実際にはどんな絵本なのかと興味を持つ人も多いのではないか。

(4) 次年度の関連事業の実施について

・財源の確保について

例) 子どもゆめ基金 24年度スケジュール 10月説明会、12月頃申し込み

【意見】

- ・大阪市ボランティア・市民活動センターのボランティア活動情報誌「COMVO」の助成のページをチェックするといろいろな助成金の情報が得られる。
- ・大阪市ボランティア活動振興基金もある。

【事務局より】

- ・助成金は、区で事業をする場合は区ごとでも申請可ですが、各図書館にご相談ください。
- ・図書館の事業ではなく実行委員会の事業なので、申請しやすいとも考えられる。

(5) その他

・次回実行委員会について

各区での集計終了後、26年2月中旬頃に開催

議題：One Bookの決定、4月23日の発表会について など

【意見】

- ・子ども運営委員はどうなったのか。（事務局より⇒実行委員会に移行した際なくなった。子ども図書館員講座はあるが、One Bookと直接関連した行事ではない。）
- ・前回の子ども運営委員に意欲があれば各区で活動してもらってもよいのでは。
- ・東淀川区では、前回の子ども運営委員にいろいろなイベントで「おまえうまそうだな」などの読み聞かせをしてもらい、そのあとOne Bookの投票をしてもらっている。
- ・月1回、区内の書店でおはなし会をしているが、そこに投票用紙を置いてもらってもよいか？（事務局より⇒大歓迎です。各区にお配りしている以外に必要な枚数送ります。協賛企業の大阪商工信用金庫では、各店舗での展示等の活用を予定していただいています。）
- ・投票用紙を配ることはできるが回収できなければ郵送料などの負担をかけてしまう。
- ・どこかの図書館で絵本大賞への投票をはがきで受け付けているのを見た。そういう方法もあり得る。（事務局より⇒次回の参考にします。）
- ・基本的におはなし会では投票用紙をその場で回収している。
- ・書店などに投票用紙を置いてもらう場合は、基本的に投票は図書館に持ってきてもらう。書店には用紙の設置のみ。
- ・書店に持っていったボランティアさんが回収するなど、負担にならない程度にやってもよいのでは。
- ・ボランティアさんがご近所の分をあずかって図書館に持っていくなどしてもよいのでは。
- ・前回投票ではボランティアさん自身の投票が少なかったと聞いている。ぜひ率先して投票を。
- ・自動車文庫ではどのように投票を呼びかけているのか？（事務局より これまでどのようにしていたか確認します。確認⇒投票用紙と投票用紙を各車に積んでいる。ステーションによっては子どもに手渡しして投票を呼びかけている。）

